

PROGRAM

■ シンポジウム (15:00~17:15) 3F「白鳳」 ファシリテーター (総合司会) 福井 昌平 氏

15:00

開会のことば

主催者挨拶 多摩商工会議所会頭 峯岸 松三
来賓挨拶 多摩市長 渡辺 幸子 氏
多摩市議会議員 折戸小夜子 氏

15:15~16:00

第1部：多摩桜プロジェクトの全体計画の発表 「山桜の保存と育成」「宇宙(そら)桜の創生」 「多摩・桜人(さくらびと)の会」 発会式

16:00~17:00

第2部：桜トーク

第16代京都桜守 佐野藤右衛門 氏
高知県佐川町長 榎並谷 哲夫 氏
「花伝説・宙へ！」プロデューサー 長谷川 洋一 氏
多摩桜プロジェクト特別委員長 福井 昌平 氏
多摩商工会議所会頭 峯岸 松三 氏

17:00~17:15

第3部：「多摩桜プロジェクト」宣言

■ 交流会 (17:30~19:00) 4F「アポロ」

■ 特別プログラム「宇宙教室」(13:00~14:50) 4F「たまつばき」



シンポジウム登壇者プロフィール

第16代京都桜守 佐野藤右衛門 氏



昭和3年京都市生まれ。代々、藤右衛門を襲名し当代で16代目。

14代目から全国の桜を調査、8代にわたる成果を『さくら大観』『京の桜』（いずれも紫紅社刊）にまとめる。造園や桜植栽の仕事で、フランス、ドイツをはじめ世界各国を訪問。京都の円山公園の桜、ドイツ・ロストックの桜など、内外の桜を育てている。また京都迎賓館作庭に携わり、棟梁として現場を指揮する。著書に『桜のいのち庭のこころ(草思社)』、『桜よ(集英社)』など。

また1997年にユネスコ本部から「ピカソ・メダル」、1999年には勲五等双光旭日章を受章している。

高知県佐川町長 榎並谷 哲夫 氏



植物博士 牧野富太郎氏 誕生の町の町長として活躍。

稚木(わかき)の桜が次世代に受け継がれていくことに情熱をそそいでおられる。

平成17年10月より佐川町長に就任。現在2期目。



稚木の桜 (高知県佐川町)

「花伝説・宙へ！」プロデューサー 長谷川 洋一 氏



「花伝説・宙へ！」プロデューサー。有人宇宙システム株式会社主幹技師。1962年神戸市生まれ。1986年、東京大学農学部卒業。有人宇宙システム株式会社で、国際宇宙ステーションの利用計画に携わる。2008年より宇宙文化事業「花伝説・宙へ！」を立ち上げる。著書に、サイエンスエッセイ『トンデモ科学の大冒険(文芸社)』、山岳小説『鎮魂花(文芸社)』ほか、「ダカーボ(マガジンハウス)」のコラムに多数執筆。



ファシリテーター (総合司会) / 多摩桜プロジェクト特別委員長 福井 昌平 氏



1946年鳥取県生まれ。株式会社コミュニケーション・デザイン研究所代表取締役社長。企業・都市・行政の経営戦略としてのコミュニケーション・アイデンティティ計画の重要性を提唱し、JRのネーミング開発や全日空の機体デザイン開発、恵比寿ガーデンプレイスの都市デザイン開発など、コンサルタントから実践的プログラム開発までの「Doタンク」を推進している。2005年に開催された21世紀最初の万博「愛・地球博」のチーフ・プロデューサーを務めた。現在、平城遷都1300年記念事業のチーフプロデューサーを務める。多摩商工会議所では、「多摩桜プロジェクト」特別委員であり、委員長を務める。

多摩商工会議所会頭 峯岸 松三 氏



大正11年多摩市生まれ。

平成9年6月多摩商工会議所会頭に就任。郷土史家としても活躍。『今昔くらしぶり図絵』『多摩の歳時記』などの著書を多数もち、多摩の歴史を後世に伝えている。

2005年、勲四等旭日小綬章受章。

出でて見る向の丘に本繁く
咲きたる花の並らずは止まじ
神人麻呂(万葉集)
武蔵野の向の丘の草なれば
根を尋ねてもあわれと思ふ
小野小町(古今集)
おのずから春の光に洗われて
霞たなびく多摩の横山
明治天皇御歌